

# 雪まるかじりツアー

～本格かまくら作りコース～

1月4日(日) ～ 1月6日(火)

IN 兵庫県立兔和野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	かまくらの土台を作ろう	作戦会議
2日目	かまくら作り	かまくら作り	かまくらナイト
3日目	片付け、そり遊び	施設を出発・解散	

一日目： 現地の積雪が1mを越えているということで、出発前からワクワクしていました。尼崎からバスに乗り施設へ向かっていると景色に雪が徐々に見え始め、高速を降りる頃には一面雪化粧でした。施設に到着次第、昼食を済ませました。昼食後は待ちに待った雪遊びです!!積雪が深いところを一列になって、進んでいきました。雪をかき分け進むだけでみんなの心は大興奮!!活動場所に到着すると、土台作りの為に大きな雪玉を転がしたり、鬼ごっこをしたり、沢山走り回り雪を踏み固めました。雪遊びが終わると、ウェアを乾燥室に運び、雪遊び用の衣類から屋内の衣類へと着替えました。夕食は何度もおかわりに向かうほど格別に美味しく、沢山の笑顔がありました。夕飯後はどのようなかまくらを作るか、それを完成させるためにどう動くか、かまくら作りに向けて作戦会議を行いました。明日はまちにまったかまくら作りです。あきらめずに、皆が納得いくかまくらを完成させよう!!



二日目： 朝早くから元気な声が聞こえてきました。朝食を済まし、外に出られる格好になり、スコップやソリを持ち、意気揚々と向かいました。かまくら作りのためにスコップで次々と雪を積み上げていく係や、周りから雪を集めてソリで運んでくる係、雪の山の上に乗る、踏み固めていく係など、グループで決めた役割をされていました。時には雪の誘惑に負け、脱線する友達もおられました。メンバー同士で声をかけ合い、「今やらないといけない事」を確認している光景がありました。みんなの背丈よりも高い大きな山が出来たら一旦中断し、昼食に向かいました。午後からは積んだ雪山に穴を掘り、形を整え、かまくらを完成させる行程です。穴掘りが特に大変で、上半身を滑り込ませ、スコップでひたすら雪を掻き出す作業をしました。飾り付けもされており、ネコの形にするため耳やしっぽを付けたり、リーダーのイニシャルを雪で型取ったりし、個性豊かな形のかまくらが出来上がっていました。夕食後は今回のかまくらのメインイベント『かまくらナイト』です。一生懸命に作ったかまくらの中で七輪を用いて餅やマシュマロを焼いて美味しく食べました。暗い中でも、誰もが大満足の様子が笑い声や楽しい声で感じる事が出来ました。そしてこの時に今日一日の様子をグループで振り返りました。



三日目： 朝食前から、シーツをたたんだり、荷物の整理をしたり、着替えや洗顔をしたりと朝から大忙しでしたが、準備や行動がスムーズに動いており、余裕も見えていました。朝食後はお世話になった施設の清掃を行いました。部屋や洗面所、浴室、廊下などみんなで手分けして遊ぶことなく、一生懸命にテキパキと行いました。清掃が終わると、作ったかまくらを元通りにします。残しておきたい気持ちは山々ですが、元の形に戻して帰るのがルールです。かまくらを元通りに作る前に直すと待ちに待ったソリ遊びの時間です。初めてのメンバーも多く、やり方とルールを聞き、沢山こけながらも大いに楽しまれていました。次の人がすぐに滑れるように自分の番が終わったらすぐに退き、次の人に譲るといった心遣いも何うことができました。あっという間に楽しい時間も終わり、片付けをして、昼食を食べました。みんな大好きなカレーだったので、沢山おかわりされていました。そして、とうとう出発の時です。大いに楽しみ、沢山の思い出を作った施設にお別れと感謝を伝え、バスに乗り込みました。帰りのバスではみんな疲れて寝るかと思いきや、思い出話をしたり、仲良くなった友達とお喋りをしたりされていました。また、来年の冬にも沢山の思い出を作りましょう。その時までまったねえ～!!



## <キャンプ総括>

今年のかまくら作りは、「グループのみんなが納得したかまくらを作ろう!」ということを目指しており、1日目の夜に話し合いの時間を設けました。実際にかまくら作りに入る前にグループのみんなが意見を交換し合うことで、自分たちの作りたいかまくらをイメージすることができ、作業に取り組みやすくなりました。かまくら作りは地道な作業でありましたが、時間が経つにつれて生き生きとした表情に変わり、完成まで全員で協力して作る姿が見られました。どのグループも自分たちの作りたいかまくらを作りあげ、普段なかなか感じる事の出来ない大きな達成感を味わうことができたのではないかと思います。(奥田 千優)